

北区日中会報

発行日
平成30年1月1日
第45号

編集 北区日中友好協会広報
発行 北区日中友好協会
東京都北区王子2-14-17
丸山事務所内 TEL03-3911-2381

平成30年 迎春



花川與惣太会長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様にはお健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年の日中関係は前年に引き続き、関係改善に向けて様々な努力が続けられました。7月のハンブルグ、11月のダナンにおいて日中首脳会談が持たれ、本年に両国首脳の間相互訪問の提起がされました。経済面、文化面での交流も進み、また、日本を訪れる中国人は一昨年比13分の1の増加で推移しております。日本での過ごし方も大きく変わり、地方の文化に直接触れる旅行客が増加しており、両国の相互理解に大きな力になると期待がもたれます。

さて、昨年北区日中友好協会は充実した活動を続けてまいりました。定例の行事では、2月の春節餃子パーティーに180名の参加者を得て、王子小学校内のランチルームで盛大に開催しました。4月には東京都日中友好協会との共催による日中友好スポーツ交流に62名の参加を得て滝野川体育館にて実施、6月には総会と懇親会を開催しました。9月には北とぴあで二胡のミニコンサート、10月は区民まつりに参加、11月には日中友好バスハイクを実施しました。

北区においては中国北京市で8月に開催された日中友好交流都市中学生卓球交歓大会に男女中学生各1名を派遣、北区の友好交流・協力関係都市である西城区の中学生とともに合同チームとして参加し、予選を突破する健闘を見せました。さらに12月には公募による区民書道交流団を結成し、西城区に派遣しました。

当会は本年も昨年同様、充実した活動を実施いたします。新春の春節餃子パーティー、春のスポーツ交流、秋のミニコンサート、秋のバスハイク等の定例行事のほか、中国語講座等も実施してまいります。また、友好協力関係にある北京市西城区からの訪問団の歓迎、あるいは中国からの留学生、就学生、帰国者の支援等の協会としての公共性を盛り込む行事、また北区の友好交流事業にも積極的に協力してまいります。

現在の東アジアは極度の緊張状態にあります。このような状況下では日中両国間の相互理解と連携はますます重要になりつつあります。私ども北区日中友好協会は発足以来両国の人々の相互理解を深める草の根交流活動を進めてまいりましたが、今後も着実に成果が上がるよう努力を継続いたします。皆様のご理解とご協力を切に願う次第でございます。

新年が皆様にとって幸多き年であることをお祈り申し上げます。

晩秋の南房総で交流 鴨川シーワールド

北区日中恒例の友好バスハイクは2017年11月19日に実施され、日本人15名、中国人10名、合計25名が参加しました。当日は会長の花川與惣太北区長の見送りがあり、元気に出発するはずでしたが、参加者が集合場所に向かう電車を乗り間違えたため、30分遅れで出発しました。道路の渋滞はなく順調に目的地に向かい、バスの中では早速、自己紹介が始まり、続いて行われたビンゴゲームで車内は盛り上がりました。途中で休憩した道の駅では、早々にお土産を買い込んでいた参加者もいました。

昼前に、鴨川のホテル三日月に到着。ホテルは風光明媚な海岸沿いに建てられており、シーズンには人気のところのようでした。しばらく待ったのち、昼食となり、各自、テーブルに、思い思いの料理を並べ、家族、友人と談笑しながらの食事となりました。

昼食の後は、バスで鴨川



シーワールドに移動、シャチやイルカなどのパフォーマンスショーを観覧しました。シャチの巨体を使ったパフォーマンスは圧巻で、ジャンプするたびに大きな水しぶきを上げ、前列の観客はずぶ濡れになっていました。参加者の中にも飛沫を浴び、足元を濡らした方もいたようでした。またイルカのスピードある高いジャンプパフォーマンスは、大勢の観客を引き付けるものでした。

パフォーマンスを楽しんだ後は房総四季の蔵に移動、海産物と農産物のお

土産をたくさん買い込む姿も見られました。

帰路は早速に渋滞に巻き込まれてしまい、到着が大幅に遅れる見込みとなり、車内では必然的に日中友好カラオケ大会となりました。曲は懐かしいもの、新しいもの様々で、ここでも大いに盛り上がりました。バスは、途中、海ほたるで休憩を取りながら、王子に到着したのは予定の1時間遅れの午後7時半頃。参加者各位、来年の春節餃子パーティーでの再会を約し解散となりました。

ミニコンサート開催される

9月29日 北とぴあドームホールでミニコンサートが開催されました。今回は3年前に出演いただいた二胡奏者の田宇さん。当日は日本、中国、世界の名曲を披露しました。卓越した二胡の演奏に観客は盛んに拍手を送っていました。また、女子大生による中国少数民族舞踊の披露もあり、会場を大いに盛り上げていただきました。



区民祭りが開催される 国際ふれあい広場に協力

10月7、8日に飛鳥山公園で開催された区民まつりの国際ふれあい広場に役員、会員を本部ボランティアとして派遣しました。国際ふれあい広場には中国、韓国、フィリピン、フランス等の11カ国の団体が出店しました。7日は朝からの雨で出足が心配されましたが、午後になって雨が上がり飛鳥山会場に訪れる人も多くなり、国際ふれあい広場も賑わってきました。訪れた方々は世界の様々な味を楽しんでいました。また、飛鳥高校及び順天中高生の生徒さんたちのボランティアがバンブーダンスで活躍、訪れた子どもたちを楽しませて



いました。同日夜のステージは年ごとにレベルがアップし、見ごたえのあるパフォーマンスが続きました。翌8日は晴れ、前日にも増して多くの方が訪れました。この日は順天中と堀船中の生徒さんが大活躍、子どもたちに人気のバ

ンブーダンス指導に大奮闘していました。昼前からは各テントには行列が作られ、それぞれの国の味を楽しんでいました。お昼を過ぎたころには次々と完売の張り札が出され、早仕舞いのテントが続々と出ていました。

中学生卓球交歓大会 北区の中学生が参加

日中友好交流都市中学生卓球交歓大会に北区の中学生が参加し、西城区の生徒とともにチームを組み、交流を深めてきました。本大会は日中国交正常化45周年、日中平和友好条約締結40周年の記念事業として2017年8月4日（金）～8月6日（日）の間、中国北京市で開催されました。大会は1992年から5年に1回開催され、本年度で6度目の開催となります。日本からは11都県と53市区が派遣、メンバーは双方の都市から男女1名ずつ計4名で構成され、268名の選手が参加いたしました。

北区では今回、初めて男女中学生各1名が参加、同行役員3名の計5名で中国北京市を訪問、北区の友好交流・協力関係都市である西城区の中学生とともに大会に参加しました。

大会は8月4日（金）に開幕式と練習日、会場はオリンピックの卓球会場であった国家オリンピック中心体育館。午前中に開幕式が開催され、午後は合同練習で準備を整えました。

8月5日（土）朝、北京市第66中学校のコー



チ・メンバーと合流し、会場に移動、試合に臨みました。試合は4チームによるリーグ戦で、第1試合は三重県津市・江蘇省鎮江市チームと対戦、結果、3-2で勝利しました。第2試合の対戦相手は長崎県諫早市・福建省漳州市チーム、3-2で勝利しました。午後の第3試合は秋田県秋田市・甘肅省蘭州チームと対戦、善戦しましたが2-3で惜敗、結果3チームが2勝1敗で並び、北区・西城区チームは3位とは僅少差でトーナメント戦に進出しました。

8月6日（日）決勝トーナメントの第1戦は福岡県福岡市・広東省広州市との対戦、残念ながら健闘むなしく、2-3で惜敗となりました。

午後は決勝戦を観戦、終了後、表彰式が執り行われ、北区・西城区チームは優秀賞のトロフィーを授与されました。閉幕式終了後は会場内で記念写真などを取り、交流を深めました。

8月7日（月）は万里の長城の居庸関と雁栖湖の国際会議場を視察し、夕方より祝賀パーティーがホテル敷地内の会場で開かれ、西城区政府、北京市第66中学校、そして北区・西城区チームの選手4名も同じテーブルに着席、アトラクションの後、交流が始まりました。交流は和気あいあいと進み、今後も交流を深めたいと再会を約しました。なお、北区日中より役員が参加、協力させていただきました。